

平成23年12月定例議会

一般質問

(12月15日)

★町の防災対策をどう見直して、検討しているのか。

行政組織の再編で、24年4月から「くらし安全課」を設置し、防災対策として、危機管理センター機能を有する体制の強化と、集中的かつ効率的な対応を図ります。現在は、災害時の避難箇所の総点検を実施しており、来年度には地域防災計画の見直しと同時に、危険箇所と避難場所を記したハザードマップを作成して、町民皆さまにお配りします。

★危機管理センターの稼働時期、体制、業務内容は。

危機管理センターは防災情報を中心管理し、災害時的確な指示が出せるように

★津山管内の市町村が連携した防災センターの設置を本町から提案できないか。

大規模災害は管内全てが被災する可能性も高いため、連携は現実的に不可能と思われると思います。今回の大震災、台風災害も、被災していない自治体からの応援、自衛隊の協力によって救助されている点をご理解ください。

★鏡野地域の情報伝達対策の見直しは。

鏡野地域はテレビ津山が情報を提供している他は、NTT西日本のADSLが存在するだけで、防災対策として活用できるような回線等がないのが現状です。現在、緊急時は携帯電話を利用した安全安心メールで情報提供をしています。24年1月からは、町内の特定機種の携帯電話を有する方へのエリアメール活用に向けて準備しています。次年度より、補助金、起債等の財源を考慮した上で調査、研究し、鏡野地域の情報伝達対策に取り組みます。

★香北小学校の将来をどう考えているのか。

今のところ地域からの声を聞いておりませんが、小学校は地域の愛情が不可欠と考えており、当面、現状を維持していく方向です。

★新町建設計画の事業と、旧町村ごとの進捗率は。

22年度までの旧町村ごとの進捗率は、旧鏡野町が事業費ベース30%、事業数ベース61%、旧奥津町が事業費ベース15.1%、事業数ベース36.8%、旧上齋原村が事業費ベース60.8%、事業数ベース51.2%、旧富村が事業費ベース34.8%、事業数ベース40.7%、4地域合同事業を含めて、町全体では事業費ベース33.8%、事業数ベース51.2%です。財政状況の厳しい中、緊急性を要する事業から順次実施しています。

★旧奥津町の事業で見直しになった事業は何か。

現段階で見直しを行った事業はありません。

★建設計画の進捗率や計画変更等を地域審議会で審議しているか。

新町建設計画に基づき、町内4地域の当該年度に実施予定の事業等を説明して、ご審議、ご意見等をいただき、関係課に調整、対応等を示しています。建設計画の進捗率は具体的に示していないため、今後示すことを検討します。

★担当課長とセンター長は、旧町村ごとの新町建設計画の事業を把握しているか。

旧4町村ごとの各種事業を合併時に持ち寄り、担当課で精査し策定したもので、各課長と各センター長へも示しています。

★町の紅葉情報はどのようなルートで提供しているか。

紅葉情報はJRが取りまとめた「JRおでかけネット」としてインターネット等で配信しています。それをさらに、日本気象協会が取りまとめたものを、NHK等のメディア